

4 学校教育計画

項目		目標・方針及び計画	
(1)	学習活動	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の志望・能力・適性に応じて、各教科の特性とバランスを考慮し、段階を踏んだ系統的な指導ができるよう教育課程を編成する。 ○ 学習の到達度や興味・関心等に配慮し「主体的・対話的で深まる授業」を行うとともに、主体的な学習習慣を確立させる。 ○ 海外研修、海外の協力校の生徒との交流や国際関係行事を通して、海外の生活文化等を知ることによって、自分たちの生活文化への理解を深めさせる。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進路志望実現を考慮した教育課程とするが、生徒の全人的な発達がなされるよう教科のバランスや特別活動等、他の領域との調和を図る。 ○ 1学年では基礎・基本を重視し、2・3学年では生徒の進路志望に対応した類型、コースと科目の選択を可能にする。 ○ 「総合的な探究の時間」を活用して、1・2学年で「探究活動」および「進路探訪」を行い、課題を発見し解決していく能力および進路に対する目的意識を高め、校訓に謳う「自ら 学び 思い 律する」態度・能力を育てる。3学年では進路に応じた教科学習の深化を図る。 ○ 全教員による学習指導研修や教科別研修等により、<u>教科指導の充実と学力向上</u>に努める。
	重点1①		<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒による授業評価アンケートを実施し、よりよい授業実践の参考とする。 ○ 授業第一主義を尊重し、授業時数の確保に努める。 ○ 学年・教科担当者が連絡を密にし、生徒の学力の把握に努める。 ○ 毎日の予習・授業・復習や、週末課題などに計画的に取り組ませることにより、<u>継続的な家庭学習の習慣</u>を身につけさせる。 ○ 学校行事等の年間計画の作成や各種のしおり等を活用して生徒各自の学習予定表・日課表を作成させ、自主的な学習習慣の養成を図る。 ○ 海外研修、イングリッシュ・キャンプ、国際理解セミナー、国際理解のための講演会等を実施し、<u>国際理解教育の充実</u>に努め、生徒に英語や外国に興味・関心をもたせ、生徒の異文化理解の促進を図る。 ○ ALT等を活用して、普段から英語による授業を行い、<u>英語コミュニケーション能力の育成と向上</u>に努めるとともに、GTECなどの外部試験を積極的に活用する。 ○ 校内研修を計画的に行い指導力の向上を目指すとともに、学校外の機関との連携も図る。
	重点1②		
	重点2②	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的生活習慣の確立及び社会の規律を守る態度を育成する。 ○ 健康安全の意識を高め、心身の健康を自己管理できる生徒を育てる。
		計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登校指導や学年における遅刻指導等を通して、富山南高校の生徒としてふさわしい服装・あいさつなどの指導を継続して行う。 ○ スマートフォンの規定違反を減らすため、PTA総会や各学期の保護者会などにより、保護者の協力を要請するとともに、アンケートを実施し、<u>スマートフォン等の利用の実態と、規範意識の向上</u>を図る。 ○ サイクル安全リーダーによる交通安全街頭指導やHR等を通して、<u>交通安全に関する意識の高揚</u>を図る。
	重点2①		
(2)	学校生活	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症感染防止対策を指導し、安心して学校生活を送ることができるようとする。 ○ 定期健康診断、各種検診の結果をもとに健康について適切に指導し、<u>健康保持や疾病予防に対する自己管理</u>に努めさせる。 ○ 全職員が生徒理解に努め、教育相談の充実を図る。 ○ 校舎内外の環境美化への積極的な取り組みを促進する。
計画			
重点3①			
重点3②			
重点4①			
重点4②			

項目		目標・方針及び計画	
(3)	重点5	目標 計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が自己の可能性を発見し、多様な選択肢の中から自分なりの生き方を探し求め、力強く歩むことができるよう助言・指導する。 ○ 学習生活実態調査・学習支援調査（進路希望調査・意識調査）を実施し、生徒個々の実態を踏まえ個人面接に生かす。希望する進学先を明確にさせることにより、適切なコース・科目を選択させる。<u>家庭での学習習慣を定着させ、目標達成のための学力をつけさせる。</u> ○ 入学直後の新入生オリエンテーションにおいて、学習の仕方を指導し、高校生活の基礎を作らせる。また、キャリア教育の一環として、1学年で社会人(OBやPTA)による講話、2学年では大学・企業を訪問する「進路探訪」を実施し、<u>進路意識の早期の確立</u>に努める。 ○ 小論文指導、面接指導、大学入学共通テスト対策、個別試験対策など、きめ細かい指導を継続的に行うことで、<u>高い志を持ち進路目標の達成に主体的に取り組む生徒の育成</u>を目指す。 ○ 生徒向けの「進路のしおり」「学習のしおり」等を発行し、進学や職業に関する情報を整理させ、自己の進路実現に活用させる。 ○ 実力テスト・模擬試験等の成績資料が隨時活用できる体制を整え、生徒の目標を段階的に設定するとともに、事後指導も確実に行う。 ○ 大学入試制度に関する正確な情報を収集し、検討・協議する。
(4)	重点6① 重点6② 重点7	特別活動 目標 計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事、部活動、ボランティア活動等に自ら積極的に参加させ、人と交流することの大切さや、社会に貢献できる資質を養う。 ○ 読書活動を通して、豊かな教養を身につける。図書館を活用した自主的な学習を励行する。 ○ 集団生活の中で好ましい人間関係を構築するため、様々な問題に対して一人ひとりが自分なりの意見や意思を持ち、積極的な意見交換を通じて合意形成が図られるよう、討論を主とした<u>HR活動の充実</u>を図る。 ○ 体育大会、南苑祭において、多くの生徒が達成感・充実感を得ることができるよう、<u>生徒に主体的な企画・立案・運営</u>をさせる。 ○ 図書館活動を活発にし、教科や学年との連携を密にして、生徒の読書に対する意欲を高め、<u>読書習慣の定着</u>を図る。 ○ 藏書や資料を充実させ、図書や行事等に関する情報を発信して、<u>図書館及び図書資料の活用</u>を促進する。
(5)	その他	目標 計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育目標達成のために、各分掌・学年・教科・委員会等が連絡を密にとることができる協力体制を構築して有機的で計画的な学校運営を図る。 ○ 開かれた学校づくりに努め、地域住民や保護者との交流・連携を積極的に推進する。 ○ 各分掌における役割と目標を明確にして校務運営を円滑に進める。 ○ 教職員相互の信頼関係を深め、教職員間のコンセンサスを図る。 ○ 会議時間の短縮に努める。 ○ P T A、同窓会、地域住民、学校評議員等に、会議やホームページを利用して、学校の方針や取り組みを紹介し理解を深めてもらう。 ○ 学校行事やボランティア活動を通して、地域住民との交流の機会をもつ。 ○ 生徒の活動や作品の発表の場をできるだけ多く設定する。